

大鹿村中央構造線博物館たより 85号



2016年6月発行

TEL&FAX: (0265) 39-2205 E-mail: mtl-muse@osk.janis.or.jp

「大鹿村ジオツアー」今年も開催します

大鹿村内のジオサイトを巡る「大鹿村ジオツアー」を、今年も実施いたします。村内在住の方が通いで参加されるのも歓迎いたします(事前申込みが必要です)。

- ・ 期日：2016年8月6日(土)～7日(日) 1泊2日 (宿泊：塩湯荘)
- ・ 参加費：1人¥1000 (博物館入館料・保険料込、宿泊費・弁当代別)
- ・ 定員：20名 (定員に達し次第、申し込みを締め切ります)
- ・ 集合：8月6日(土) 12:50 中央構造線博物館駐車場
- ・ 申込先：大鹿村中央構造線博物館 電話0265-39-2205
- ・ 申込締切：7月20日(水)まで
- ・ 日程 (内容、時間等が変更になる場合があります)

1日目	8月6日(土)
到着時間	場所・内容
12:50	博物館駐車場 集合(自家用車)
13:05	大河原バス停 集合(バス)
14:10	夕立神展望台
15:50	福德寺
16:10	中央構造線博物館
18:00	宿泊先(塩湯荘) 到着

2日目	8月7日(日)
到着時間	場所・内容
8:00	宿泊先(塩湯荘)前 出発
8:05	黒部銚次郎の坑道跡
8:40	河合鞍部
9:10	中尾上部
9:40	中央構造線博物館
11:30	安康露頭
12:30	安康南沢(昼食)
13:50	大西公園
15:00	博物館にて解散

- ・ 共催：大鹿村公民館

飯田市美術博物館自然講演会

「南アルプスの高山植物に学ぶ」聴講

2016年5月21日(土)に、表題の講演会を聴講してきました。講師は、静岡大特任教授の増澤武弘さん(植物生態学)で、極限環境に生育する植物に詳しく、南アルプスユネスコエコパーク(生物圏保存地域)登録にも尽力された方です。

南アルプスは、かつて氷河が山を削ってできたカール地形の南限であり、氷期に北極域から分布を広げてきた植物が生育している南限でもあるそうです。また、カール地形の中でも、部分毎に植物の生育環境が異なり、それぞれ適したタイプの高山植物が群落を作っているということでした。

他にも盛り沢山の内容でしたが、ここには書ききれませんので、興味のある方は、講師の増澤先生の著書「南アルプスお花畑と氷河地形」(静岡新聞社, 2008)をご覧ください。博物館の学習室で閲覧できます。モデルコースに沿った解説がありますので、南アルプス登山を予定されている方は、事前の一読をお勧めいたします(宮崎)。

おまけの「植物検定」

キタダケソウは南アルプス北岳の石灰岩地にのみ生息することで有名ですが、どちらがキタダケソウでしょう？ 正解は次号に！

